

24/2/16(金) 名古屋市議会総務環境委員会

「名古屋城バリアフリーに関する市民討論会」における差別事案に係る検証委員会からの中間報告について

名古屋市民オンブズマンによるメモ

15:32

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：当局の説明を求める

鳥羽スポーツ市民局長：23/6/3 差別事案 中間報告提出された

本年度2回所管事務調査した。

中間報告も

橋本総務課長：資料説明

外部有識者+副市長

検証経過

原因、背景は中間報告後

観光交流局の事後の対応

事案問題点検討

対応

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：質問を

くずや利枝(自民・名東区)：2/15 中日新聞1面

「職員の問題意識欠如」

職員差別問題意識が欠如と思う

90ページ 市長、副市長発言録見た

一番は「市長の問題意識欠如」があるのでは

「参加者が自由に発言」市長の政治信条

差別は人権侵害

職員が制止すべきであった 足りなかったのは事実

2ページ 事実確認ヒアリング

市長、関係職員8名 委託業者2名

場にいた職員全員か？

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：注意点

中間報告の内容

他局にわたる部分多数 人権の部分のみ

施策、予算はおふくみおき

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：「他局の施策に踏み込んだりかんよ」
討論会が開催されるにいたったプロセス 考えを聞くのは
所管を超えたということにならないか

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：必要な事実関係なのでよい

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：「ここでその議論する場ではない」という委員がいる

伊藤主幹：当日に限らず、企画に関わった職員も含む

くずや利枝(自民・名東区)：ヒアリングをした役職は

伊藤主幹：係長級以上 局長まで

くずや利枝(自民・名東区)：資料18ページ 6番
検証委員会は7項目挙げている
当局として7項目すべて取り組むべきと考えるのか
最終報告の結論が出た上で採用するのか
市としてさらに検討するのか

伊藤主幹：再発防止

全市的に速やかに取り組むべき 最終を待たずにやる
7項目 自主的に取り組むべきことはこれに限らず検討

くずや利枝(自民・名東区)：最終報告を待たずに着手する
現時点でいつ着手するのか

伊藤主幹：中間報告出た上で速やかに

くずや利枝(自民・名東区)：意見

- 1 7項目ある 障害者に対する差別発言
障害者に特化した内容
人権意識・感覚 性別、年齢、国籍、部落、LGBT
広範になる
その他の人権も広範にくみ取ってほしい

性別 市長の人権感覚 昨年10月コンビニ交付できていない
定例会見「奥さんが区役所に取りに行けばいい」
女性蔑視と捉えられてもしょうがない
世界的なジェンダーギャップ指数 水準が低い
検証委員会も今回をきっかけに
名古屋市がリードするような意気込みで
ただでさえ日本は人権意識が低い
市内外国人増加 アジア大会控えている
MICE 誘致力を入れている

2 市民向け討論会という形をとられた
他局もやっている
広く市民の意見を募集 マニュアルがあるのか

伊藤主幹：個別の局はわからない
全庁的なもの 運用マニュアルはない

くずや利枝(自民・名東区)：「討論会」名称の不適切さ
どうして「討論会」 副市長 理由明示されていない
木曾川 当初討論会→意見交換会
名称を含めて制度設計 事象を踏まえてなにが想定されるかマニュアル化 必要

3 職員が市長発言を制止できなかった
中間報告 原因や背景究明する必要ある
根深いものがある
市長の意向を踏まえて制止できなかった
人権意識・感覚の育成 マニュアルに関わる
一番の場長 差別発言が出たような場合でも、
躊躇することなく制止できるような体制
組織の風土 必要
係長、現場の担当者レベルでは難しいかも
主催者は市 職位に関係なく対処できる環境を

4 最終報告 過去疑問点検証
現時点でどういった点が問題？当局の認識は

伊藤主幹：過去の経緯を含めた疑問点
具体的には、委員に協議
討論会が開催されるに当たり、公募
障害者団体と意見聴取してきた

無作為抽出 中間報告では出てきていない
過去の背景がある中で意思決定する
先生方に教義頂き決める

くずや利枝(自民・名東区)：事象における大きな要因
丁寧に当局 検証委員会の要請に応じて対応を

うえぞの晋介(民主・西区)：頂いた資料 再発防止事項
根本的に、人権感覚が低かった
当時の対応 評価の中で述べられている
市長を含め、相当覚悟を持って最終報告を真摯に受け止めてほしい
過去のこと触れたくないが、河村市長 東京オリンピック 金メダルかじった
いろいろ不適切な行動
積み重なって今回障害者を傷つけた
職員への対応 業務の中で再発防止に向けたこと
名古屋市のトップ 受け止め方 中間報告なので市長としてのコメント 記憶が無い
市長としてどう受け止めているか 分かる範囲で

伊藤主幹：分かる範囲で
2/14 委員長から市長に手渡し
委員長「『差別は許さない』姿勢を示してほしい」
市長 しっかり受け止める

うえぞの晋介(民主・西区)：市長 コンプライアンス研修を受けたと聞いた
中身は公表されていない
今後どう対応されるか

伊藤主幹：市長に対して 現時点で検証委員会としてどうする はない

うえぞの晋介(民主・西区)：意見
そもそもの行政のあり方、最終報告では過去に遡って検証する
名古屋市が他都市をリードする人権施策を

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：事実関係は読めば分かる
細かいことまでやればきりが無い
今後、最終報告に向けての考え方 確認したい
「過去の経緯を含めて疑問点に関して検証予定」

どこら辺まで踏み込むのか

報告書の現状も含めて

6月にあって、様々なやり取りがあり、第三者機関で検証委員会

途中で「急げ」名古屋城担当者からあったやに聞いている

伊藤主幹：検証 進め方、内容は第三者制を重視 有識者に任せている

「早く進めろ」影響はないと考えている

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：事実として「早くしろ」という声があったのか確認

課長では答えられないと思う

「早く検証して早く結論を出せ」

「事業が遅れるから早く結論を出せ」

室長：事務局 直接の働きかけは伺っていない

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：ない でいいか

実はあったなら

鳥羽局長：働きかけがあったのか？

事務局にはなかった

普段の会話 「早くやって欲しい」感じていた

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：一緒 忖度の世界

「エレベーターを設置しない」新たに加わった

7月に設定予定→忖度で6月に開催

局長発言 「早くかたづけないと名古屋城が進まない」

庁内にムードがあったなら、何も改善されていない

中間報告がでようがでまいが

「早くやれ」感じている時点で、忖度があるということ

なにも改善されていない

市長「できるだけやる」いうでしょう

心にあるかどうかは別

中日 この写真のムードならそういうだろう

内心思っているか

はなから既に起きているとしたら、この時点で問題

「早くやれ」ムードがあるなか、事務局が急いだわけではないと思う

「討論会のありよう」しか検証されていないと思うが

伊藤主幹：直接的な原因究明

原因、背景は引き続き検証すべき

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：討論会のありようの検証でしかない

出してしまう環境 討論会だけを検証してもだめだと思う

市長に見られている 副市長に言われた

市としては「最上階まで目指す」

突如「市民の意見を聞く」

時期も急いで

バリアフリー「市民討論会」になっていた

そういうことのやり取り

さっきの話し 局長発言「検証委員会すら急げ」ムードがいまだにある

やりたいことありきで、やるべきことをやっていない

続いている

時間がない中で検証したのは評価する

根底にあるところを掘り下げないと、人権意識改善はできない

決意の元にはじめた

一方「急げ」

何も改善していない

深く掘り下げないと、夏まででできるのか？

夏まで結論があるなら オミットしたい

名古屋城 市長のやりたい思いだけで、人権、職員意識、モチベーション、

熱意 議会も含めておざなりになった結果がこう

名古屋城のこと

一例だが、名古屋市役所の体質改善するには、木造復元に特化した真相検証が必要

具体的な

室長：検証委員会 職員葛藤 どうして行われたか

検証していただく よろしく

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：何をお願いされたのか？

10年以上遡る

本会議質問 今は佐治局長 当時市民経済局

名古屋城天守復元 「文化庁は木造以外認めない」偽りの答弁

本会議 局長がこたえた

質問 減税日本の議員

経済水道委員会

本当に文化庁発言するのか？

文化庁の保護予算そんなない

国が担保してくれよ そんなこと言えないはず 政治家としての感覚
ありえない

国会議員何十年やってれば分かる

市議員十何年やってても分かる

名古屋市がやるかどうか決める

国が言うのなら国が出してくれ

減税 市議員として数年

局長は同じこといった

→そんなことはありえないだろう

文化庁 ペーパー 否定

うちの会派が質問する前日

局長が謝罪

「木造でやりたい」縷々続いてきたのが現状

そこまで掘り下げないと、今の名古屋市役所 体質は末期的

ダイバーシティ 辛辣に指摘した

そこまで遡ってやらないと、根底的なことが解決しないのでは

鳥羽局長：過去の経緯 遡って掘り進めるべきという指摘

整備する立場からは早く進めたいのはわかる

厳しいスケジュールの中、検討してきた 中間報告書で書かれている

そういったことにも迫っていきたい

あくまでも人権の面からの検証

事業そのものの是非までは難しい

人権面から検証 どこまで遡るか 有識者会議で決めたい

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：「木造化の是非を検証して」とは言っていない

事案は木造復元 いたしかたがない

直接的発言 1人の1ワード

その他、「ずうずうしい」 法令に反する

「熱いトーク」 該当すると思う

出た話 名古屋城の事業の進め方 掘り下げるしかない

事業の是非は所管で

それに基づいて障害者の人権を著しく傷つけた事象

前、エレベーターつけるつけない

県庁、市役所前 デモ
辛辣なメールがいくつも届いた
障害者団体 訴えていないかもしれないが
文化庁の見解 曲解したのか、偽りの答弁
名古屋市役所 10何年やってきた
なぜこの事業は人権を傷つける ムード、機運 エモーション
掘り下げないと、抜本的な解決にならないのでは
天守木造化 触れながらやらざるを得ない
市民経済局 答弁がなぜ起きたのか遡らないと
今後の検証に向けて
市長や様々な立場から意見 苦悩や葛藤 推測される
そこまで掘り下げて

鳥羽局長：事業掘り下げ 趣旨は理解した
有識者先生 きちんと伝えて、検証 ご議論いただきたい

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：今後の検証に向けて
障害者差別解消推進条例
包括的人権条例
条例制定 若干出ていた
しっかりと掘り下げた上で、事象として
並行して進めるか
経済水道委員長も傍聴している
一方、障害者を傷つけた事業が進むとは思えない
無作為抽出までやろうとした 普通の政治家が考えるなら
掘り下げるべき 条例制定 画期的な条例制定 検討して
手元の事件 けりをつけるという意味ではない
今年の夏 間に合うのか？
副市長の答弁「少なくとも1年以上はかかる」だったはず

横井利明(自民・南区):差別発言繰り返された
私は心を痛めた
必然だったか、偶然だったか？

伊藤主幹：中間報告 想定不足、準備不足
必然と言えるかどうか 発生しやすい

横井利明(自民・南区)：いろんな声を聞くときある

過激な方「エレベーターいらんぞ」

「障害者はわがまま」「障害者登らなくていい」

「障害者に税金使わなくていい」議員になって聞いたことが無かった

ここ5-6年平然と語られるようになった名古屋市

なぜ変わったのか、掘り下げるべき

なんか足りない

表面だけを追っかけている

えぐり取っていない

「最終報告に向けて」これだけが救い

ちょっと読んでいて足りない気がする

市民、変わったんじゃないか、どう捉えているか

伊藤主幹：市民の中で厳しい、差別発言

啓発のみではなく、差別が発生しやすい要因 セットであると認識

エレベーター関係 激しい意見

そういった場合でも、とらえ方でできていないが、

幅広く、粘り強く理解を進めるよう、各局が主体的に理解

止める、趣旨 説明する マニュアル

まだまだ行き渡っていない 力不足

横井利明(自民・南区)：昨今、市民の感覚が変わったのでは？

こんなこと聞いたことがなかった

「わがまま、登らなければいい」

4-5年聞く

メールでもいっぱい来たと思う

市民の動きを感じないですか？

室長：名古屋城の問題

市民の声が送られる

ある種分かりやすい 意識をしないまま、意見を発せられる

市民の差別と知っているかどうかは別 差別の思いがある

横井利明(自民・南区)：これまでは、思ったとしても言っちゃいけない

思うこともなくなった 事実

口に出して、平気で差別発言を言う人が増えたのも事実

なぜ 「名古屋城の話が出てから」

名古屋城の何が変えたのか

鳥羽局長：市民の中で差別発言が増えた原因は？

マジョリティ中心で成り立ってきた現状

排除しようというこれはあまりない

ネット普及 言葉ではなく、そういったところで表現 安易 背景

出やすくなってきた

名古屋城 「史実に忠実」「バリアフリー」

意見が対立構造 起きているのは事実

市民に対する説明会 機会も増えている

クローズアップの中で、声が出やすく

横井利明(自民・南区)：ネットとか世界的背景 言えなかったことが言いやすくなった

そもそも誰が仕掛けたのか？

仕掛けた人がいる

自然発生的が多くなったわけではない

原因は何か なぜこうなったか

鳥羽局長：名古屋城に関しては、史実に忠実な復元をしたい 市長の思いがあった

バリアフリー 公共施設なおさら 実現しないといけない

考え方を調整 対立という形で現れてしまった

報告書の前提にある

過激な意見が出る素地がある

横井利明(自民・南区)：意見対立は、対立を凶ろうとした人がいたから

名古屋市政はすべて分断から生まれている

憎しみの憎悪から市政が動いている

たまたま名古屋城の問題がはまった そう思わないか

鳥羽局長：様々な議論を進めるにあたり、双方の立場を明確にして

そうではなく調和を図る

様々な手法で合意を図る

様々な手法の中で

横井利明(自民・南区)：なかなか言いにくい

議会と市民 市役所と市民 教育委員会と市民

常に対立構造に置くことで力を得ようとした人がいたのでは

たまたま障害者であった
官製差別だ 市民が悪いわけではない
報告書 どうしても物足りない
スケジュール設定に無理があったのでは、人権意識低い？
なぜそこに至ったのか 入っていない
消化不良
中間報告だからしょうが無い
えぐり取らないと、元のところ 人権、差別解消出来ない
やってほしい
市民も納得しない
藤田さんの質問にも出ていた 決意を聞かせて

鳥羽局長：検証委員会 有識者の方々に検証いただく
ご指摘いただいたこと 伝える

横井利明(自民・南区)：職員の苦悩、葛藤 そこに苦しんだんだと思う
仕事を進めよう しっかり調査、検証
文化審議会に耐える資料を作ろう
国際コンペ バリアフリーの装置をできる限り最上階まで 条件だったはず
できる限り最上階と書いてある
決まってきたら、ある日突然「1階まで」変わる
何が困る？ 障害者団体と話ししている
障害者差別解消法「建設的対話」
市長から「こんなのやめ」
現場の職員 立っておれない
全然違うじゃないか 信頼関係崩れる 仕事が止まる
討論会も、もともと7月→早くしろ
討論会だけでなく、文化審議会書類 2年間早めろ
書類できていないのに、建設的対話進んでいないのに
職員追い詰めていったのでは
討論会 準備進まないままやっちゃった
人権問題もあるが、仕事の進め方でパワハラ
どうなのか

室長：様々な職員の葛藤
委員の方 感じながら当日限定で
踏み込めていないところ 念頭に置きながら今後

横井利明(自民・南区)：同じ思い
中間報告だされ、最終報告
出てきたらどうするのか
人権を所管するあなた方は

伊藤主幹：一番大事なのは市民の信頼回復
人権条例、再発防止策
二度と起こらないように 他局をリードしながら
実行性のある取り組みをすすめる

横井利明(自民・南区)：そんなことなのか
今回報告では、スケジュール無理、人権意識低い
そこに職員追い込まれていったのでは
討論会 差別発言 口を出せないものがあつたのでは
「官製差別では」といっている
出てきたものをどうするのか
10何年間繰り返している
職員はもっと苦しめるきか
その結論ではないがする
改善の方向 昔のような名古屋市にどう持っていくか

室長：重たい 職員を思つての発言
名古屋市としてどうなのか
最終報告議論の中で 人権施策 職員の人権を守る 念頭に置いて何ができるか
検討すべき

横井利明(自民・南区)：ぜひお願いしたい
委員長「所管外は言っちゃいかん」遠慮して
意見 市長も「史実に忠実な」言っている 当局も答弁
そもそも 史実に忠実ではない
公表しているホームページ 基礎構造 ビックリする
小天守に入る 通路通つて大天守に入る
当然ドキドキする どんな名古屋城？
大天守入つたフロア 半分以上柱が鉄骨 知っていた？
木目のシール貼るのか？
C案鉄筋コンクリート

市民にどう説明するのか
市民は史実に忠実 信じている
床面 マッドスラブ 鉄筋をはわせてコンクリート
B案鉄の柱 59 本
名古屋市民 見るのは鉄骨
505 億円 史実に忠実
なのに昇降機はダメという意味が分からない
障害者差別しているのか？
本物なら分かる なぜエレベーターだけだめなのか
「史実に忠実」言葉使わないで
意見として

副委員長 田口一登(共産・天白区)：中間報告位置づけがある
差別事案 直接の原因究明
最終報告に向けて議論
今回は直接的な原因究明
スポーツ市民局として、直接の原因究明は果たされた？認識か

伊藤主幹：直接の原因究明 中間方向としてまとめた
今後過去に遡って 新たな事実 積み残した 議論
現段階 これ以外にないわけではない
最終報告で追加もあり得る

副委員長 田口一登(共産・天白区)：知らなかった事実
アンケート項目が市長レク後変更
目的変更 知らなかった
評価がされている
物足りない 基調が断定、推論、考えられる に留まっている
直接的な原因「これが原因」到達できない？

伊藤主幹：推察、否めない
委員の中でもどこまで確定できるか
もうちょっとわかることがあり得る

副委員長 田口一登(共産・天白区)：特に断定 市長に関わるどころ
資料7ページ 上から2つめ
「どこまで設置するか、削除 市民を誤認」

市長の意向が関係していると推論せざるをえない
記録がないため

市長レクで変わったんじゃないか？

市長がはっきり答えればいいはなし あいまい

資料14ページ 当日の責任体制

「市長の設置しない」職員に影響した可能性が言い切れない
きちんと断定できない

中間報告 不満なところ残る

私は、市長に関するところが不満
うけとめはないか？

伊藤主幹：どこまで断定できるか

検証の中心部分 有識者先生で話し合っ、

ヒアリングで言い切れるか

分かる範囲で記述した

副委員長 田口一登(共産・天白区)：市長のヒアリング

ホームページに載っている

率直に言って正面からきちんと答えていない

自分の思いを語る部分が多い

こういうところからして、今回の差別発言 市長自ら原因を究明する

大元の原因だと思う

不満 曖昧な答えではぐらせている

これでは解明できない

かなりつまづいたが、肝心なところが検証し切れていない

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：田口さん、普段より切れが悪いね

忖度だなと思う

ここで忖度はダメだと思う

確定された評価は断定してもらいたいが、

中間報告→最終報告で事実を明らかにして 期待したい

26ページ 市長

検証委員会「市長は公職者として差別に取り組むべき」

主張されていると思う

やっとなとも思う

市長来て話ししてもらいたい

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：質疑が落ち着いてから
正副委員長一任で

副委員長 塚本つよし(民主・中区)：委託業者
5000人無作為抽出 29パーセント回収
違和感 56人参加
1.1%
回収率 29%→3.8% すごい低い
積極派、消極派 いろんな話しが来る 市民の意識が高い
非常に低い
委託事業者 委託契約 「熟知していること」随意契約理由
委託業者が司会している 報道で詳細も知った
18ページ 連携が不十分 昇降技術設置決定 認識がなかった
一致しているとは言えない
アンケート 一度意見聞いているのに討論会
理由ずれ 市側が目的を明示しなかった
再発防止 7項目
市民、事業者理解促進
名古屋市全体の市民、事業者を言っていると思う
不十分さ 事業委託を行うことはあると思う
含まれているのか

伊藤主幹：再発防止
直接的 含まれていない
マニュアル、職員対応要領 再委託 見直しされている
直接的には入っていない
マニュアル どういう点で注意するか
発言例 検討したい

副委員長 塚本つよし(民主・中区)：名古屋市の責任で行う
十分な対策を行って

近藤和博(公明・緑区)：中間報告 読んだ
本編 問題点の検証
あくまで検証委員会が出した中間報告
人権を司る皆さん どう受け止めているか
その通り？ そういうことではない？

わたしはその通りと受け止めた

伊藤主幹：中間報告 事前準備から人権意識欠如
想定できなかった
実際起こった マニュアルが役に立つものとなっていなかった
知識が行動に移せなかった
反省をしている

近藤和博(公明・緑区)：その部分はそう
場面場面 評価、問題点が掲げられている
当局としては、評価はそのとおりと受け止めているか

伊藤主幹：指摘の通りと受け止めている

近藤和博(公明・緑区)：「熱いトークがあってよかった」
藤田委員 「熱い」は差別を評価したと捉えかねない
皆様もそうか

伊藤主幹：そのような認識

近藤和博(公明・緑区)：横井委員
分断、対立を煽る手法
局長答弁 手法は討論で対立させる
もう一方 調和をさせる方法
どちらの手法がいいとはいえない
キモ なぜ討論会という手法にしたのか
市長の意思もあったのだろう
表記がよくなかったのではないか
事前アンケート 差別的発言も書かれていた
局長答弁 対立を煽ったのはよくなかったと答弁して欲しかった

鳥羽局長：名称 中間報告
目的不明確、名称不適切
検証がされた

近藤和博(公明・緑区)：どこまで触れていいのか
聞きたいこといっぱいある

他局にからむ
一番今後検証 市長が介入 推測の域を得ない
答弁もそこがキモ
その方向で検証して
討論会によって辛い思いをした人がたくさんいる
その立場に立って検証
本当の意味での解消ができない

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：今から市長出席してもらえれば
所管の局を超えたところ 回答しないだろう
線を多くとってもらわないと
人権問題だけでは
名古屋城でなければ起きなかった事象
プロセス きちんと議論の議題に載せないと、
いつまでたっても絵に描いたなんかをつかもうとする
冒頭に質疑 「これはやめてください」やりにくい
人権は広範
姿勢としての問題 名古屋城だから起きたと私は断定している

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：正副で検討
再開は伝える
17：24

18：03
委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：正副 市長に出席求める

くずや利枝(自民・名東区)：コメントと評価
見解を伺いたい
「熱いトークがあってよかった」差別発言であり人権侵害
市長の見解 受け止めているか

河村たかし名古屋市長：6月23日 田口さん質問に答えた
同じ なしでもしゃべれんこともない
違ふとまずい 読む 2つあって
我慢しろ、いわゆる差別発言
「まず当日～」
こういう認識

くずや利枝(自民・名東区)：障害者差別があった、解消全力
人権 事案についてお尋ね
6月にあった後、10月コンビニ交付
定例会見「奥さんが区役所に取りに行けばいい」
私は男女差別と受け取った

河村市長：答える義務はあるのか
なんの通知もなく 人権侵害だ

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：反問権はみとめられない

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：暫時休憩しますよ
場外に話しを持っていくと論点がずれる
ずっと繰り返す

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：反問権はみとめられない

河村市長：会見の時、すぐ謝っている
「奥さんが」他の人が行った方が、マイナカードなくてもいい
大転換した はるかに人権侵害
既に答えているか
何遍も質疑通告無しで

くずや利枝(自民・名東区)：質問の範疇を超える
人権が包括する範囲 障害者、性別、外国籍、部落差別
今後最終報告 条例制定の必要性も検討
障害者以外の人権も範囲内であると考え
6月差別発言 再発防止 市長発言にもかかわらず
同じ人権の範囲 女性に対して差別と受け取られる発言
人権意識 人権感覚育成 難しいこと
75歳男性 発言する自由はあると思うが、
公職者 定例記者会見で発言 問題がある
市長の立場 市民発言尊重は理解できる
公職者の立場の発言
改善していくものがあるか

河村市長：マイナカードを推進している人がよく人権と言えるな
最大の人権侵害

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：マイナカードは

河村市長：言い出したから言っている
頑張っている
申し訳なかった 謝った 何遍も持ち出して
よういくな

くずや利枝(自民・名東区)：マイナカード推進が人権侵害に当たるか
市長は総務省に問い合わせた
再度確認して 今回はコンビニ交付 これ以上はやめておく
職員に対する再発防止 市長も含まれているとうけとめている
十分にたり得るのか懸念

河村市長：丁寧に提言いただいた
「障害」自体が差別だと思う
はじめのときに

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：不規則発言はやめて

河村市長：障害という言葉が差別発言ではないか
7項目 いろんな街づくり、提言を聞く
最後の辺 車いす もっと早い時点で
計画を作るところからやっいてこうとしている
精神に限らず
名古屋城は別だが、
民間でも、公共建築でも はじめから参加していただく

くずや利枝(自民・名東区)：不安を覚える発言
「障害者差別解消条例」
条例の名前自体も差別発言が含まれている
条例の名称改正まで考えているのか

河村市長：厚労省の会議録
何十年も前から、まずいのではないかと議論

アジア大会・パラ あらためようではないか
会長「とにかく寄附を」
勉強してからやって
厚労省の議事録読んだの？

くずや利枝(自民・名東区)：数十年も前議事録は読んでいない
差別用語を知らない職員がいた
若い世代 そもそもしらなかった
だんだん30年前と今と30年後
人権が示す範囲 差別用語 時流に沿って変わっている
職員に対する 答弁の流れ 差別用語に対する職員間の周知が必要
意見として申し上げる

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：中間報告書
エレベーター アンケートとるなかで、市長へのレクによって、
「設置しない」項目が加えられた
いつ、どういう場面で加えられたのか

河村市長：よく覚えていない
一番上までエレベーター これはいくらなんでもいかんよ
技術があるかわからない
これはいかんだろう 新聞に出ると誤解する
昇降機無し 望んでいたのは、磁力であがっていくやつ
車いす自体あがっていくやつ
交渉もした
あそこから出してもらえと思っていた
裏取ってもらってもいい
模型まで作った 1億円近くかけて
記憶が確かではない

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：当局
設置しない 事実確認
覚えがないとおっしゃった いつどういう場面でやり取りがあったのか

伊藤主幹：中間報告書 令和5年3月30日市長レク
設置に賛成、反対、どちらでもない
別の選択肢 1階まで、2階まで、3階まで、4階まで、5階まで

踏まえて、両設問が合わさって、
1階まで設置、5階まで設置 設置しない
という経緯かわからない

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：市長に質疑しない 当局に聞く
検証委員「設置しない」問題がある
市長「リニアが」新技術があるから、設置しない項目が
あるかおかしい
観光文化交流局 わからない
どうしてか

伊藤主幹：今回の討論会 設置どこまで設置するのか
委員の方で、どの階まで
当初認識→「設置しない」
副市長のレクまでは、各階どこまでか
市長レクで変更があった 何らかの関係があるのではないか

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：3月30日指摘
設置するという結論があったのか？
30日指摘があって加わったのか

伊藤主幹：30日後の資料から、設置しないが含まれた

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：副市長レクはいつのか

伊藤主幹：3月29日 同じような資料で副市長レク
3月30日 同じような資料
その後選択肢が変わった

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：他局の話し 中間報告書でまとまったこと
私の解釈 すでに討論会やろうかやろまいが、
昇降技術設置結論は決まっていた

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：市長、不規則発言はやめて

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：つけることは決まっていた
アンケート案を作った

3月30日 プロセスがない
検証委員会 『設置しない』は置くべきでなかった
事実として調査出来ているか

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：市長 受け入れがたいが、
当局が答えようとしているのに、市長が言うのは忖度が生まれる可能性

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：市長、職員発言に
圧力をかける可能性

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：事実を答えればいい
市長がどう言おうと

伊藤主幹：参考資料 当初市民アンケートお願い
目的 どこまで設置するか

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：「設置しない」置くべきでなかった
明らかになったが、観光文化交流局 記録がない
30日まで エレベーター付けるのが決まっていた
市長の意向により、「設置しない」項目ができた
討論会「設置しない」
対立を煽る討論会になってしまった
中間での結論
差別発言を誘発した問題
「エレベーターはない」選択肢があると誤解してしまう
言いたいことがあるならおっしゃって
どうぞ

河村市長：真実をしゃべらせろ
言い方を変えろ

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：こういうやり方はやめろ
しゃべらせろといったのはあなた
なにが失礼
このまま返した

河村市長：昇降機はあるが、本当にやりたかったのは

車いすそのままあがっていく
似たやつがある 小型リニアモーターカー、シャフト
出すと言っていた
そちら 昇降機無しでやれるのは一番いいと思った
完全に構造を変えなくていいかはわからない
そういう意味で選択肢はあった
出さなかった
はじめからエレベーターなし 言っていないと思う
あがっていくやつ 何とかしようと思う
根本的に違う
いい加減なことを言うな

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：市長が「設置しない」項目 どこかで決めた
いつか
当局に聞いている

伊藤主幹：確認できているのは、レク 4月6日市長レク
最終アンケート検討レク

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：事実で分かったこと
市長の思いがあった
30日はそう
4月6日 最終確認「設置しない」項目が加わっていた
確認できればそれでいい
市長「しゃべらせてくれ」
技術があるから、「設置しない」思いであった
討論会の時にでた話し 「新技術があるから待てばいい」
活発に行われていた？
そういう議論だったのだな
検証委員会 動画を見た
「設置をしない」市民 わがまま、ずうずうしい、我慢せい、
生まれながらにして●●(差別用語)
ここが問題
そこじゃない あくまでも障害者に対して「設置しない」は
障害者に対して、わがまま、ずうずうしい、我慢せい
生まれながらにして●●(差別用語)
討論会が行われた

思いは分かったが、討論会はなっていない

河村市長：田口委員にも言ったが、残念なこと
新技術があるから 名古屋城の階段が上げられるか
相当の工夫が必要
できる可能性はある
シャクトリムシみたいにあがる
出します だまっておいて

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：聞くんもりは無かった
6月に急いでやらなくても、シャクトリムシが出てきた時点でやったのか

河村市長：私 自分とすると、市民の意見を聞く
いろんな意見聞く ものすごくやってきた
ああいう格好 指示していない

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：結論として、6月
7月にやる予定が6月
このタイミング やる必要はない？
市民の意見を聞く ウェルカム
シャクトリムシプランが出てきます
それが出てから討論会でよかったのでは？

河村市長：議会で「市民の意見を聞いてはどうか」
討論会 認識はない
無作為抽出 「どうせやるなら無作為抽出がいい」と言った
決まった人が出てくる 相当こだわった

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：おっしゃるとおり
言った覚えがないといった
無作為抽出は市長が言ったから、討論会になった
討論会も不適切 結論
討論会は6月にやらなくてよかった
市長が急がしたわけではない
議会の討論
議会で「市民の意見を聞く」討論会とは言っていない
横井さんが質問するといっている

くずやさん「熱いトークもあってよかった」
市長はこの言葉 「他の発言者への謝意」
訂正されたらどうか
今の段階で訂正されたら？不適切だったと指摘

河村市長：2人くらい 内容聞いてよく分かった
簡単に訂正しろといわれる そう簡単ではない
無作為抽出ですから一遍もやったことない

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：田口さん質問に対する思い
100歩譲って理解しましょう
聞き取れなかったらしい 不快な発言 言及されていなかった
検証委員会が中間報告を出した
市長発言ははっきり断定している
「差別発言を評価した」と捉えかねない
後日であっても訂正すべき
結論が出た以上訂正すべき
予算項目に触れるから
バリアフリー 令和6年度予算考えている
発言にとられる 訂正して、人権、障害に理解があると主張したほうがいいのでは
「熱いトーク」不適切だった
思いはあるかもしれないが、実際の討論会は「ずうずうしい」
「我慢せい」「わがまま」「●●」
市民が誤解、エモーションに火が付いたのか
市長が期待した討論になっていない
障害者に対するお詫びすらない
包括したのが「熱いトークがあってよかった」
いろんな事実がわかって、中間報告
予算組んでいるなら、訂正なり撤回すべき

河村市長：簡単に撤回すべきではない
評価する声もあった
すぐ謝っている 悪かったといったかわからない

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：調べた限り、「熱いトークがあってよかった」
市長の謝罪、修正はない
公的な場所で、修正されていない

とがめているわけではない
訂正されてはどうか？
永遠と残っているのが問題

河村市長：謝った

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：調査不足
訂正される？

河村市長：違う

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：委員長、整理する
私は訂正も謝罪もない
市長「謝った」 訂正をする気持ちがあるのか

河村市長：勉強になってよかったという意見もあった
差別発言 議論になったわけではない
田口さんは訂正しろといわなかった

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：理解できない
市長「謝りましたよ」 締めくくった現実 引っかかりがある
事実があるなら、私の言葉なら「訂正、撤回」意思があると思った
市長「違う」 理解がおかしいのか

河村市長：何遍も言っている
少なくとも聞いたことが無いような素直な意見があった
あとでその後記者が「差別発言」どういうこった？
申し訳なかった 謝った

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：気分を害したなら謝らなあかん
「熱いトーク」撤回
中間報告の検証委員の評価

河村市長：テープとらなあかん

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：録音聞かなくても、認定している
公職者には差別に厳しく取り組んで

「差別を表現する自由は認められない」と書いてある
私が言っているわけではない
検証委員会が言っている 資料を読んでいる
資料に書いてある
私の言葉ではない

河村市長：認識が議論しないとイケない

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：「議論しないとイケない」
不服であるから

河村市長：取り消せというから
発言取り消せとは違う

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：取り消すなり修正するなりしては？
私も検証委員会も言っている
「答えました」田口さんに
検証委員会で断定 市長発言問題指摘
福祉をするうえで、誤解を与えるおそれ
訂正/修正 方法は市長が決めればよい
けんか腰 あんたにいわれたくない
議会の議論ではない
市長も選挙で選ばれた 私も選挙で選ばれた
これで終わる

河村市長：あなたに言われたくないとは

横井利明(自民・南区)：市長「シャクトリムシ、リニア
いいところまで言っている」と発言された

河村市長：京都の 具体的な名前は出さないでくれ
シャクトリムシ (仮称)
役所とも一緒に行った
実験ができるようにあれを作った 1億円
リニア 大分 こないだも来ていただいた
大阪万博 ワイヤーのないエレベーター
すぐできるかどうかわからない

3年か5年 かかると思う
なんとかやりたい
リニアの学会があった 発言があった
昔のかご 人力 相当有力
火事 煙が危ない
人間がたくさん集まってやったほうがいい
疲れるから
十分あって、そちらに期待したい
終わってからもリニアは継続している

横井利明(自民・南区)：質問者見てしゃべって
目を見て
なぜ私が聞いたか
MHI 契約 7800万円予算計上している 政務負担行為
そっちはどうなっちゃうのか
3-5年開発できるなら
城できるまで10年
まったく無駄にして、シャクトリムシやリニアになるなら
なぜ補正予算

河村市長：難しいところ
ないわけではなかった
シャクトリムシ、リニア 确实ではない
とりあえずやっっていこう

横井利明(自民・南区)：なぜ确实ではない話しをするのか
できると思って聞いていた
「それは絶対じゃない」なにが本当なのか
市長の話はいい加減
できるかできないかわからない話しをされても困る
リニア、シャクトリムシ 3-5年視野
補正予算は必要ないと解釈していいのか
MHI システム 市長は腹に落ちていない？
ベストではない？
真意がわからない

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：そういう新技術あるから、

「設置しない」説明した さっき
討論会につながるのに、
そういう選択をせずに討論会を開いた

横井利明(自民・南区)：結論として聞いているわけでは無い
人権まで持っていこうとしている

河村市長：シャクトリムシ リタイヤされた
リニア まだ続いている
大阪万博がまずある
絶対とは言えない
挑戦していく 車いすそのままあがっていく
民間の家でも使える
MHI 名古屋城もある どこでも使える
オールオアナッシングではない
まずやってみよう
どこまであがるかわからない
5階まであがる？どうやってあがるのかわからない
5階部分 真ん中4分の1煙突みたいに
史実に忠実により近いが 非常に問題がある

横井利明(自民・南区)：耳を疑った
シャクトリムシは撤退した？
永遠としていた

河村市長：そのときは

横井利明(自民・南区)：リタイヤした話しをずっと話していた
いい加減
あまりにも誠意がない
ボロカスに言っていない
みんなひっくり返っている 頭の中

河村市長：委員長、一方的な話しはやめて

横井利明(自民・南区)：シャクトリムシはリタイヤした
あたかもできるような話し

河村市長：名誉毀損
指名して

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：市長の発言は

横井利明(自民・南区)：シャクトリムシかバリアフリー
「史実に忠実な」エレベーターやバリアフリーではない
木をこうつかう 工法
全部 境界をエレベーター
社会を分断して、残念な議論になってしまった
境界はエレベーターではないはず
なんでエレベーター
シャクトリムシではない

河村市長：一番史実に忠実ではないのはケーソン
既に違う わかっている
防災
真ん中に作るのはいかんでしょう
鉄骨造りになる 木造でなくなる
宝暦の改修までより近づけよう

横井利明(自民・南区)：ケーソンの話し なかなか聞けなかった
いきなり出てきた
史実に忠実か忠実でないか 外観 構造
なんでエレベーター 設置されるかされないか
どうしてもわからない
ここに焦点 障害者に対する差別の発言に持って行ってしまう
関係がある
いうのなら、委員会でもさっき言ったが、
小天守にはいり、大天守ところ A案 B案 C案 B案鉄骨 59本
木は 50本 C案 RC
A案 鉄骨と木交互
なぜ鉄骨で作るのか 入ったところの部屋は全部こう
一番先に見る部屋 ドキドキする瞬間
どういう気持で見めるのか 史実に忠実か？
ケーソンの上 コンクリート流して作る

A案B案C案すべてそう 安定地盤作る
これを同じ市長を出しているとは思わない
市民の皆さんは空間を見て、どんな思いか
こんな提案 「エレベーターが史実に忠実かどうか」わからない

河村市長：基礎の上 いろいろあるが、苦勞している
いろんな技術 しょうが無い
そうでないとつukれない
ケーソンも同じ
しゃべっているときにやめろ

横井利明(自民・南区)：ケーソンは埋まっている
コンクリートは これからやる
鉄骨もこれからやる
ケーソンを抜くと石垣影響
本物といっている市長が
こんなニセモノつくるのか

河村市長：どうしても調整せざるを得ない
防災上配慮して
エレベーター作るか
なぜ松本城にない、
シンボリックになる やらない
皆さんの喜びを考えると
あれがこれが
令和2年文化庁基準 遅れた
はっきり出した 復元と復元的整備
高い蓋然性求めて作って
新築 文化財にはならないが、しかるべき価値が与えられる
精一杯の努力をしている

横井利明(自民・南区)：言っていることがちゃらんぽらんだ
松本城、姫路城 昔につくったからエレベーターがない
これから作る名古屋城 エレベーターばかり議論
市民はそこばかり
気がついてみれば鉄骨名古屋城 そっから入る
大天守鉄骨59本 何作っているのか

「エレベーターだけいけません」

障害者納得いかない

鉄骨のことがばれるとまずいので、エレベーターを議論している？

エレベーター問題だけに焦点をあてて、議会も市民も気を取られて

市民が分断され、障害者に非難が集まったと推測する

市長どうですか

河村市長：その推測は間違っている

文化庁 令和2年度

防災上

同じではないが、史実に忠実を目指した建物は評価 書いてある

私たちの狙い

石の建物は残る

「新築建造物にはエレベーター付けろ」違う

いやならいやという人もいる

そうじゃない考え方も

しょうがない

文化庁

「分断をもたらす」さらさらない

横井利明(自民・南区)：市長が意図的に分断をもたらしたとはっていない

結果的にバリアフリーを境界線に持ってきたから

反省に立った上で、今回のことをやらないと終わらない

真摯に受け止めるべき

境界をバリアフリー 市民が分断され、事件が起こった

どうやって理解していくか

障害者差別解消法「全部バリアフリーにしろ」とは求めている

お疲れですか市長 聞いていて

市民の分断になって今回の問題になったかと質問している

的を外れていないよね

相手と話しあいをして、対応して 納得が得られる対応をしていくこと

不可能なことまでやれとは求めている

相手と対話をする 建設的対話が求められている

分断してどうするか

分断ではなく対話 努力をしない限り、人権問題は決着できない

バリアフリー問題も解決しない

終わらない

一度謙虚に反省して、どうやって対応するか聞かせて

河村市長：合理的配慮

3人の車いす議員が来た

さいとうさん、熊本、東京車いす

「障害者対策しないでいいと言ったことがあるのか」ゼロだ
国宝をなんで作らせてくれないのか

「政治ですから」

そこにあらわれている

名古屋の人間にとって宝

名古屋城だけ例外にできないか わからない

ほかでいかん ゼロ

対話は重ねていく

横井利明(自民・南区)：なぜ話しをずらすのか

質問するのも困る

聞いていない

今回故意じゃなかったと思うが、市民の分断を生んで対立

反省して対応に努める 結論だと思う

反省の言葉も何もなし ここから対話が始まる

相手の話を聞く、できる限りをする

市長がやらないかぎり終わらない

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：不規則発言はやめて

河村市長：当事者には何遍でも謝っている

令和2年基準 ただ1つの建物

3人議員に言ったら「政治ですから」

横井利明(自民・南区)：わざとはずしているのかわからない

みんな目点状態

もう一回言っているのか

努力しようとしている 姿勢を改めて、分断から対話に行くように

邪魔するつもりはない 協力してる

反省して、これからの決意を聞こうとしている

全然違うことをいう

心配している

なぜ外れているのか、まったく反省していないのか
委員長、全然答えないがどうしよう
もう1回いう 市長がこれだけの木造復元 史実に忠実ではない
本物とはほど遠いが出した
そっちが議論になるべき
バリアフリー、エレベーターを強調することで、分断を生んでいる
そのことに対して反省はないか
同時に、分断ではなくて対話してくれ
建設的対話 進める、努力する、配慮する
障害者の方に差別的発言 そんなこと言っていない
根幹を言っている
なかなか ぼかんとされている

河村市長：対話 重ねようとしている
何回市民集会でたか
令和2年文化庁基準
今回については申し訳ないというしかしょうが無い
何回も謝っている
どうすればいいのか
本人にも会った
僕にとっては本物
図面を作った人 昭和実測図 名工大
昭和16年「戦争で破壊されるかも知れない。
詳細な図面を残すので、復元してください」
福祉の方にも理解いただきたい

横井利明(自民・南区)：大変残念です

副委員長 田口一登(共産・天白区)：「熱いトーク」について
答弁を読み上げられた
答弁書を見ずに自分の言葉で答弁
最初は答弁書を読んだ
深刻なことなので答弁書を読んだ
問題が起こった直後
中間報告後の答弁 同じ答弁
認識が前進していないことは残念
検証委員会 議会を踏まえた上で検証された

資料 17 ページ

「熱いトークの真意は何か」

全ての発言を「よかった」と市民が認識

「熱い」という表現からは差別発言を評価したとさえ捉えかねない

今日、聞かれるという認識はあると思った

差別発言に問題提起するのかな？残念

問題提起して欲しい

河村市長：差別はいけない

ああいう状況 そうなった 謝った

申し訳なかった

感じ悪いが、電話したら留守番電話になった

副委員長 田口一登(共産・天白区)：本来撤回すべきとふじた委員

不適切な発言 今の時点に立てば

市長としては、「全ての発言が問題ないと捉えかねない」ので

今言うべきではないか

河村市長：報告書を見て、全体と捉えかねない

市長として 不適切だったと思う

副委員長 田口一登(共産・天白区)：今に立てば不適切な発言

「公職者として、差別には、より厳しい姿勢で対応に取り組んで」

河村市長：争点が違う

頭叩いてはいけない

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：聞かれたことを答えて

河村市長：裏金問題もダメ

無作為抽出で話を聞く ほぼはじめて

国会も長い

出てきてもらって普通の市民どこにいるのか

思うところしゃべった よういつてくれた

それまでいかんのか

副委員長 田口一登(共産・天白区)：本文

市長は「差別発言はいけませんが、無作為抽出で発言したのはよかった」事実として確認
それよりも無作為抽出で発言はよかった 検証委員会の

河村市長：それよりもと言ったか
同じくらい

副委員長 田口一登(共産・天白区)：自分の言った言葉も忘れている
ホームページ載っている 全文載っている
小林委員「『熱いトークもあってなかなかよかった』
やっぱり傷つけるのはよくなかったと言ってはどうですか。」
河村市長「結果としてはそうだが、思っていないもん。
本音を言うのはよかった」
事実確認している

河村市長：テープ聴かせていただいて
僕の認識と 言ったかもしれない
同じくらいの価値がある

副委員長 田口一登(共産・天白区)：熱いトークもあってなかなかよかった
不適切とはっきりおっしゃった
公職者として差別に取り組んで
裏金は差別とは違う そらすのではなくきちんとやらないと
市長にこの問題で反省してもらわないと、人権施策が進まない
本質的にはそこ
本物復元か、障害者配慮か
両立させようとしたところに分断
今日は聞かないが、きちんとうけてとめていただきたい
同じことが繰り返される

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：無作為 意図をしない人 議論してもらうのは
手法としてあり
こういう自体 手法がいいか自信がなくなる
市長さんは、出席されない方がよかったのではないか
市長がいるがゆえに、気持が高揚したのでは
起きてしまったこと
でない方がよかった 選択肢はあると思わないか

河村市長：市の主催 僕としては出て行くのがあたりまえ
出て行かないのは想像できない
欠席してはいけない

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：出ることが義務と考えればそう
議論聞いている、明らかだが、天守は木造にしたい
限り無く忠実な木造復元したい
エレベーターはつけない
新技術で上げられるならつけない
思いがある人が分かっている
市長が聞いていたら、忖度して意見が偏るのでは
「出ない」という選択は、「出る」と同じ意味を持つのでは
本当に無作為抽出で自由闊達に話すなら

河村市長：やっぱり言ってお礼を言いたい
エレベーターやめろ、コンクリートの城でいいという人もいる

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：無作為抽出でない議論はそう
無作為抽出に価値があるんでしょう
「八百長」ではなくフラットな意見
お礼なら開会冒頭だけ
ずっと聞いている 市長祭りになるのでは
意見が言えない 少し言葉を濁す
エレベーターを付けない意見なら、ああいうことになるのでは
あってもいいのでは

河村市長：なかなかこれ
可能性としては否定しないが、珍しいこと

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：その性格なら、精一杯の回答
最後 不適切と認めた
聞こえなかった 謝った
他の発言者 熱いトーク
言葉が聞こえなかったのかもしれない
わがまま、ずうずうしい、我慢せよ、●●
それを車いす利用者に浴びせたあと、拍手が起きている

気付かないのはレア
熱いトーク評価 残念
賞賛な拍手
それは市長は認識している
不自然だと思う
市長がいることによって、討論会が市長の考えよりになったと評価
無作為抽出 評価してやっていきたいなら、市長が挨拶後でていけば
より意見がでたのでは
中間報告書をよく読んで
当局に確認したいことがある

うかい春美(民主・中村区)：様々な問題点指摘
新しいことはない
ふじた委員 17ページ 一番問題だと思う
車いす障害者 謝りに行きたい 職員「私たちが行く」
お詫びしたい、傷つけたなら、「わしが行く」
姿勢が大事
検証委員会 総務局が設けますといったわけではない
名古屋市が設けてやりましょう

室長：市として反省すべきことはある

うかい春美(民主・中村区)：本当に重要事案
心の問題、生き方の問題
市として検証委員会を設けて総括
市長がお願いしようとした 出ている、検証委員会
討論会 でていた最高責任者は市長
市長は責任を負う
再発防止 職員研修とか、業者、対話 7つ
一番大きな責任を負う市長は何をするのか
17ページ 評価
やっぱりしっかり受け止めてやっていかないと
真摯に受け止め、実行しないと
仮に当日発言聞き取れないとしても、記者会見で「差別は許せない」
さきほど不適切だった
やっと皆さんが言って不適切と
ネットで見た人、傍聴の皆さん、委員のみ

討論会、議案をテレビ等で知った人 やはり広く不適切と表明すべき
後日でも問題提起すべき
それがあってこそ 公職者として差別に厳しい
定例記者会見で表明されるお考えは

河村市長：言わしていただきます
根底 無作為 女の人 意見を言う 感謝してますから
何十回もやったが、同じグループばかり
頭に入れておいて
否定してしまうのは

うかい春美(民主・中村区)：思いを記者会見で言えばいい
本当に申し訳ない、きちんとお詫びする
今後の市政運営 いいのではないか

河村市長：言い訳 1日2日のうちに言った気がする
わかった

うかい春美(民主・中村区)：言い訳にされないように
金メダル 人権のこと 研修を受けたと言った
どこでどんな内容 聞けなかった
さらに人権考えを
このような市民に心配かけている

近藤和博(公明・緑区)：様々委員から議論
当時そうだったんだ わかってきた
事実確認 どうしても腑に落ちない なぜ討論会にしたのか
意見交換会であり、市民の生の声を聞きたかった
討論という市民と市民が戦わせる方法でなくてもよかった
なぜ討論会にこだわったのか

河村市長：討論会にこだわった記憶が無い

近藤和博(公明・緑区)：結果として討論会になった
決めたのは市長
なぜ判断したのか

河村市長：市民の意見を聞くべき

議会から言われた

よく覚えていない 無作為抽出でやったらどうだと言ったかも

はっきり覚えていない

近藤和博(公明・緑区)：討論会 賛成か反対か 議論を戦わせる場

承知した上で討論会に判を押した

そんなイメージか

河村市長：無作為抽出だからいろんな意見がでるでしょう

従来にはないような

思いの丈を述べて

近藤和博(公明・緑区)：危機管理能力が足りなかった

25 ページ バリアフリー検討 以前から障害当事者意見、

差別的言動 激しい対立があることがわかっていた

分断が懸念されていた

市長は持っていたか

河村市長：粘り強く話せば分かってくれると思っている

近藤和博(公明・緑区)：答弁がずれる

昇降機に対する差別的言動を含む激しい対立は知っていたか

河村市長：デモもやった

松本城が燃えたら、エレベーターつけないといけないのか

近藤和博(公明・緑区)：答弁がずれる

対立構造は当局は認識していたか

伊藤主幹：市民の声、いろんな話しはきいていた 認識していた

近藤和博(公明・緑区)：差別的発言を認識していたか焦点

市長としてやることは、どういう対立が想定されるのか

意見が交わされるのか 聴取すべき 取られたか

河村市長：あったようなきが

「事前に調整はやめよ」

近藤和博(公明・緑区)：検証委員会「かねてから対立があることは分かっている」
事前にどういう展開になるか確認すべきだった
それを踏まえた上で判断するのが市長の責任
レクチャー受けたか

河村市長：受けていない
思うところを話してもらおう

近藤和博(公明・緑区)：市に届いている意見は
生の意見
確認すべき 当局も進言する必要があった
討論会開催

河村市長：無作為抽出 人数が少ない やめようかという意見もあった
聞いてみよう どういうかな

近藤和博(公明・緑区)：ちょっと考えが浅い
討論会をやる 対立構造 認識している
細心の注意を払うべき
偶然なのか必然なのか 限り無く必然に起こっていると思う
ちょっとした市長の配慮で起きなかった可能性
15ページ 参加申込書 記述に「『障害者に配慮』考えに疑問を持ったから」
当局は市長に伝えないと
キャッチすべき 注気になる
すごいこと書いてある
こういう意見述べられるはず
細心の注意を払うべき
自分が責任を持って、やるべきだった

河村市長：そういわれれば
何が起こるか分からない 参加動機知らなかった
司会：けんかにならないように配慮して
差別発言はそうない
危機管理上なっていないかったのは認めざるを得ない

近藤和博(公明・緑区)：反省すべき

対立が長い間続いている

もう1点 討論会 時期尚早ではないか

ふじた委員「シャクトリムシ」

市長はシャクトリムシの技術 現実となったとき討論会やるならわかる

なぜ討論会をやったのか

8月復元検討委員会に間に合わせないと行けない 強い意志があらわれたのでは

河村市長：議会での答弁

近藤和博(公明・緑区)：その時期がこのタイミングでやらないといけない

コンビニ交付 マイナンバーに反対

→マイナカードに反対

→スマホで出せるように

予算として出された

できたから、10年間反対していたコンビニ交付が形になった

シャクトリムシ、リニア 話しするなら、

それをもって出してこないと、市民の皆さん 急場しのぎ

8月検討委員会に間に合わせないといけない うつつてもしかたがない

河村市長：車いすそのもので上に上がっていく技術

時間はかかるが、シャクトリムシ 明言している

出さなかった 裏を取ってもらっても構わない

近藤和博(公明・緑区)：議論がかみ合わない

修正すると時間がかかる

聞いている人はかみ合わない

今回は「討論会」方式間違い

時期もあわててやるべきではなかった

午前中話した 市長の締め言葉 どの議員も「ここって象徴的」

田口委員「不適切」認めた

→撤回すべき 撤回はしない

河村市長：必ずしも

お願いしたい よく発言してくれた

近藤和博(公明・緑区)：答弁繰り返し

不適切なら取り消さない
「熱い」 差別発言を評価しかねない
当事者がどう思うか
そこも含んだ肯定したか 障害のある方本人
どれほど苦しんでいる
市長「ほかに女性」
この発言は撤回するが、他はよかった でなぜだめか

河村市長：簡単に撤回することはない
無作為市民が、えらいもんだなと思った

近藤和博(公明・緑区)：最後にしたい
コンビニ交付 「奥さん」 撤回した 謝った
これも撤回すべき
どこに向かいたいのか
検証委員会踏まえて、市長は苦しめられた障害者
どうやって手を取り合って
象徴的な出来事 姿勢が変わらないと、今後 100 の検証しても
何もかわらない
そこを見ていると思う
言い訳を聞きたいと思っていない
心を見たい
我々のことをどう思っているか
溝は埋まっていけない

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：他にないか
市長への質問はこれで終わり
休憩 5 分程度

20：40

20：47

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：最下位

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：大変長い間、何も得ていない
確信固まった
横井委員 ほぼほぼ名古屋城
市長の思いが強すぎる

感情的に客観的な検証 市長に来てもらった
私の考え 担当者 読み切れないが、
職員なり、関係者から、簡単な言葉で言うと忖度、「設置しない」最終的に落ち着いた
なぜかは不明
市長も納得
職員の忖度 垣間見れるところはあるのか
関係者、業者も含めて
最初の提案 2 転 3 転している
ほぼほぼ言及していないが確信
近藤委員が聞いた 8 月文化庁に間に合わせるため無理強い
なぜ 1 日もはやく
エレベーターも乱暴な結論
市長 吟味していない
周囲が過剰な忖度
少ない果実
客観的にどうか

伊藤主幹：調査 全ての資料を取り寄せた
忖度は資料、ヒアリングはなかったのかな
「なんらか影響し」忖度か？

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：最終報告 その部分に焦点を当てて
いっぱいしゃべってくれた
横井委員が引き出してくれた
鉄骨
経済水道の議論？趣旨はそれではない
所管を超えてやるような無茶なこと
如実になった
次の最終報告 市長との関係をもう一度検証して

室長：市長の発言を踏まえ、関係性も見ていく必要がある

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：そこに神髄があると確信した
ロジカルな組み立てではない
当局も含めて
あなた方がやる仕事 みたことない
市長肝いり いろいろあった

結局そこが神髄 あのやりとりやってもああだからしょうがない
トピックにすべき

もう1点 「文化庁が木造以外認めない」確信

なにがなんでも木造にしたい

実測図がある 心情は分かる

理解できないわけではない

空襲がいよいよ 空襲の日

襖絵を避難させた わかるが、

思いがあまりにも強すぎる

論理的な話しができない 乱暴的な結論づけを繰り返す

集大成が討論会

無作為抽出 こだわった

たまたま詳しい車いすの人がいた

差別発言が浴びせられた

いなくて、この議論がされたら

差別発言がでて問題になっていない ぞっとする

いなかった場合深刻

「設置しない」 結果5階 どこまで上がれるか

討論会、無作為抽出

考えがひっくり返るかも知れない 「設置しない」

はかりしれる

あの人がいなく、「がまんせえ」「ずうずうしい」

とんでもない結論

「昇降機つけません」になっていた可能性

決着を付けようという答弁

この討論会

もしそうでなければ恐ろしい結論

議員間討論しないが北角さんに聞きたい

さかのぼるべき

事業の是非ではないが、市のすすめかたに

やりたいという思いが強いがために、

人の話を聞かない

ためをもっていても、ああいうふう

危険だな

2つは実施して

しかるべき答弁を

鳥羽局長：忖度、遡って

検証委員会 差別事案の検証

残っている課題 職員が意見に対応 苦悩を抱えてきた

影響を与えたのではないかと 問題提起

過去に遡る どこまでか

今日委員の方、市長のやり取り踏まえて伝える

確定的に遡っては自信がないが、伝える

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：ぜひやって

求めるにとどめる

令和6年度 のびていくのは事実

夏頃 夏頃が適切なのか？

予算の中できちんと問いただきたい

検証委員にもご意見いただきたい

中間報告「納得いかない」という声も 複雑な背景を

適切な言葉でまとめたと思う

クオリティは評価している

とことん遡って市政運営、やり方が本当に正しいのか

やらないと、人権問題は解決出来ないと思う

市長「ぜったいやりたい」総括せずに

今回の答弁そんなかんじ

自分自身の検証ができていない

ロジックもって欲しい

他人事のように聞こえた

検証の検討を

委員間討論を求めないが、委員会 進んで行ってほしい

強く要請したい

違ふだろうという意見があれば、私に委員間討論を求めて欲しい

さっき「人権侵害だ」

なければそれでいいんだ

逆に私に聞いて

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：ふじた委員に意見があれば

遠慮無く

よろしいでしょうか

ふじた和秀(自民・瑞穂区)：ないので、異論が無いという前提で

委員長 服部しんのすけ(自民・熱田区)：再度確認した
よろしいか
特にないようなので終わり

21：07